



善正寺だより

揭示板法話

人生何一つ無駄はない 念仏ひとつとなつて届く嬉しさに会う

ある雑誌に「小学生の悩み」ベストテンが掲載。1位「なぜ勉強しなくてはいけないのか?」、2位「友達ができない」、3位「死んだら後どうなるか?」...。3位の「死んだら後どうなるか?」と悩む小学生があるとは意外です。もし、子供から問われたらどう答えるか? 「そんなこと考えて何になるの? そんな暇があったら勉強しなさい! 」とこまかしてしまふ私たちではないですか?

十歳の時に星空を眺めながら同様の疑問を抱いて求道の遍歴を重ねてきた方から著書を贈られた。『如来のまなざしの中を』(自照社出版)。著者は志慶眞文雄先生。医院の二階に「まなざし聞法道場」を設けて仏教講演会、読書会を毎月開いて聞法を続けているビハラー医療団の一人です。

苦悩の遍歴の末、32歳で医学部に合格した日、大学会館で開催された、「歎異抄の会」に参加したのが親鸞聖人の教えに遇うきっかけになった。紙面の制約上、求道の遍歴を詠んだ「まなざし巻頭言」の一つを紹介する。



何という世界を賜ったのだろう
生きていく虚しさにあえいできた
死んでゆく身であることに心乱れてきた
自虐的にしか生きて来れなかった
あーしかし こんな我が身にも生きていける死んでいける道が開かれるとは 予想だにできなかった
何という世界を賜ったのだろう

南無阿弥陀仏
煩惱具足の身なれば 怒りも腹立ちもねたみもそねみもおこり 思はずが悩み苦しみ哀しみ不安で一杯になる あーしかし 我が身に起こるいちいちの出来事が 私を照らす出来事 我が身におこるすべてが私自身のいのちの内容だと そう受け取れる世界が開かれるとは 予想だにできなかった
何という世界を賜ったのだろう
南無阿弥陀仏

順縁も逆縁も 私への批判も悪口も 苦悩も不安もありがとう
私の正体を知らせるための縁
すべては真実を届けるための縁
人生に何一つ無駄なものはない
すべては念仏ひとつとなつて届く嬉

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:0593-31-1670
☎:0593-32-0733

☆行事ご案内☆

☆報恩講 講師 藤 大慶先生(京都府)

11月2日(月) 午後1時半(法話)、夜6時半

(親鸞様ご生涯映像、音楽法要、琴演奏、法話)

※お非時(午前11時より12時)手作り料理をどうぞ!

11月3日(火・祝)午前10時より (法話)

◇絵手紙教室 11月10日(火)午前10時 庫裏食堂

◇キッズサンガ 11/7 (土) 午後4時よりお経ゲーム。

鐘つきは毎夕5時、年中無休、お友達を誘って来てね

◇三重組コーラス 11/22本山御堂演奏会、バス7時半、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。開設7年3か月で18万7千訪問、一日80~100訪問、悩み相談、大歓迎! 即返信

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話
11/9~15長男、11/23~29住職、12/7~13坊守、それぞれ一週間担当の法話が流れます。お聞き下さい

親鸞聖人750回大遠忌法要平成28年5月15日(日)午後

※お稚児さん大募集! 参加費5千円、詳細お申込みは寺まで

◇12/5(土)夜7時半「お内仏報恩講」お参り下さい!

◇来年4月16日(土)午後1時「初参式」赤ちゃん募集!

◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

写真アラカルト



しさ この身このままでいのち終えていいと思う 予想だにできなかった
何という世界を賜ったのだろう
南無阿弥陀仏
闇を破る光に会う。仏法聴聞の醍醐味はここにあり。先生有難う!合掌。



坊守スケッチ

氷多きに水多し 障り多きに徳多し

今年NHKと民放が作成したドキュメンタリーの最優秀作品が、BSで放映された。特に『葉禍の歳月・サリドマイド事件50年』に感銘を受けた。50年前日本には300人以上の両手や両足を欠損したサリドマイド児が生まれた。妊婦が飲んだ風邪薬の影響によるもの。国と製薬会社が非を認めるまでの裁判は10年に及び、障害者には多額の賠償金が支払われた。両腕を欠損した増山ゆかりさん(5

1)もその一人。心臓にも異常があり7歳まで病院生活。北海道の家族に会ったのは小学校入学時。初めて知る家族の温もり!父は多額の賠償金で事業を始めたが失敗。両親は離婚し、母は家を出て、父もやがて失踪。東の間の家族の幸せもあつてなく崩れた。

ゆかりさんは「自分がどれほど努力しても両腕が戻るわけではない。自分が生まれた所為で家族が苦しむ。多額の賠償金を手にしたばかりに、家族離散の憂き目。この先生生きていても好いことはない。自分がこの世に存在する意味はあるのか?」と問い続けた。

時には死を決意して荒れた冬の海に佇んだこともあった。その時以前父と海で遊んだ懐かしい光景が思い出され、ふと我に返り死を思い止まった。高校卒業後上京して就職。26歳の時

健康者の男性と結婚。夫の勧めで自分を捨てた両親を探した。父は末期がんで死の淵。結婚を喜んだが花嫁姿を見ることなく他界。母も2年後に病死。「もし私が障害をもつて生まれなかったら、日々厳しく自分が生きる意味を問うことはなかったら」と言う。彼女の前向きで逞しい生き方を見て、「氷多きに水多し、障り多きに徳多し」という親鸞聖人の和讃の一節が心に浮かんだ。私が直面する苦勞もやがて私を育てる糧となると受け止めよう。

ホットニュース

◇10月1日から31日までの1か月間、百五銀行阿倉川支店ロビーで『第5回善正寺門徒展』開催中。今年の子供から大人まで年齢層が幅広く、水彩画、伊勢型紙、写真、書道、布絵、絵手紙など、多数の方に協力頂き感謝申し上げます。是非一度ご覧下さい。報恩講中も本堂に展示します。

◇『絵手紙教室』第5回目11月10日(火)午前10時より。庫裏食堂で。終了後はお茶会。参加者少数につき大募集!誰でも自由にご参加頂けます。◇報恩講お非時(寺ごはん)を11月2日(月)午前11時より12時まで、年に一度の門徒さん手作り料理をどうぞお召し上がり下さい。



☆若院夫婦の『育自な毎日』その13

我が子の誕生日。それは親にとつて自分の誕生日以上に特別な日。我が家の長女、紗恵も十月末に一歳になりました。この一年間で寝返り、ハイハイ、タッチ等、急成長を間近で見られる幸せを有難く思います。

長女の場合、三歳年上の長男から受ける影響は大きく、長男が正義のヒーロー気取りで遊んでいると、その口調を真似っこ。長男は二歳頃まで赤い子供用の車に乗れなかったのですが、あっさりと乗車成功!今では長男と二人乗りをして、振り落とされないうか見ている方がハラハラ。長女は写真も大好き。長男と二人で写っている写真を毎日、指差して「にいたん」とご満悦。百五銀行阿倉川支店のロビー展でも、ジイちゃんや兄ちゃんの写真を見つけて大喜び。お参りの時には、「なんなんあん」と言つて小さな手を合わせくれます。長女は大人の真似をしていただけですが、その無心さに私たちも背筋がピンと伸びます。

誕生日を迎え、家族や周囲の皆さんおかげでこの一年が平穏に過ぎたことに感謝しています。親子共に成長した一年だったと、子育てを通じて再確認しています。(潤爾・由佳)

寄稿

四日市市 歌俊悦

☆睡蓮の花に寄り添う メダカ達
眺むる吾は 時を忘るる
☆自分の事 自分で出来る 幸せを見つけたら 施設通いで



◇三全仏教婦人会主催『初参式』の赤ちゃん・幼児を大募集中!来年4月16日(土)午後1時より善正寺にて。お稚児さんのか月前ですが合わせてお申込み下さい。参加費千円。

お稚児さん大募集!

平成28年5月15日、親鸞聖人750回忌法要(7か月後)の御稚児さん大募集!参加費5千円。まだ先のことか、出足がイマイチ。ご協力下さい。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」263号をお届けします。◇1面で御紹介の小児科医・志慶眞先生は、十年程前花巡礼の旅法座で母上と共に講演下さった方が仏法に遇うご縁を開いて下さった方。不思議な仏縁の催しに感謝の外はない。◇「東京はジャングル。人間の顔の見えない所」との嘆き節を聞いた。闇の深さに目覚めた方の喝!の声。嗚呼合掌。

芸術の秋、如何お過ごしですか？ある市民混声合唱団の演奏
会を聞きました。合唱組曲の一つに「丁度よい」という歌がありました。
歌詞は一九八二年石川県真宗大谷派坊守藤場美津路さん作り、
自坊の寺報で披露。「お前はお前で丁度よい、顔も体も名前も
姓もお前にそれは丁度よい、貧も富も親も子も、息子の嫁もその
孫も、それはお前に丁度よい、幸も不幸も喜びも悲しき、これも丁度
よい、歩いたお前の人生は悪くも善くも、良くも悪くも、お前にとって丁度
よい、地獄へ行こうと極楽へ行こうと行った所が丁度よい、うぬぼ
れる要もなく卑下する要もない、上もなければ下もない、死ぬ月日
さえも丁度よい、仏様と二人連れ、の人生、丁度よくない筈はない。
丁度よいと聞かえた時、懐念の信が生まれます。南無阿彌陀仏」
この詩が美しい旋律に乗せて心に届きました。藤場さんは「決して安
易な現実肯定ではありません。自分の力ではどうすることもできない
深い苦悩の中で、仏様の慈愛の言葉が聞かえ、ありのままに書き取
りました」と語る。私は以前に法話でこの詩を聞いたことがあり、
こうして合唱曲となすて聞かせて頂くと新鮮な味わいが生まれ、お寺に
ご縁がなかった人達とも共感できます。観光地では良寛さんの
作詩として土産物品として売られているそうです。秋は報恩
講のシーズンです。開法のチャンスです。一度でも多く仏様の
言葉に耳を傾け、私の安心できる居場所を見つけましょう。
善正寺報恩講は11月2日、3日です。お非時は2日午前11
時より、どうか皆様お誘い合わせてお参り下さいませ。

平成二十七年十一月 合掌 善正寺坊守様